



学部長ごあいさつ

保健医療学部長 大日向 輝美

6月、夏に向かう北の美しい季節となりました。保護者の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本学の教育・研究等にご理解・ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、既に新聞報道等でご承知のことと存じますが、保健医療学部の平成29年度入試及び平成27年度入試において、集計表の問題により合否判定に誤りが生じ、各年度1名ずつ計2名の方を不合格としていたことが判明しました。このような判定ミスにより、不合格となった受験生お二人をはじめ、保護者の方々、学校関係者など多くの方々に多大なご迷惑をおかけしました。また、在校生、保護者の皆さまにおかれましても、ご心配をおかけしましたことを深く反省し、心よりお詫び申し上げます。

本学ではこの事態を重く受け止め、再発防止に取り組むとともに、誤って不合格とされた受験生お二人には、今後の進路や補償等におきまして、誠意をもって対応させていただく所存です。また、今回の件で失った信用を取り戻すべく、教育・研究等の一層の向上を目指し、教職員一同努力して参りますので、今後ともご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

学内ではまもなく迎える大学祭に向けて、学生たちの活動もいよいよ活発化して参りました。学生たちは、今年の大学祭のテーマとして「繋（つながり）」を掲げました。学部・学科や学年の垣根を越えて、一つの目標に向かって新たな絆を育みたいという願いを込めていると聞いています。大学祭は学生だけのものではなく、多くの教職員、市民が参加する交流の場でもあります。地域に開かれた大学として、市民の皆さまとも温かく触れ合い、つながりを育む、実りの多いイベントにしてほしいと願います。

保護者の皆さまにおかれましても、若いエネルギーと新鮮な感覚、柔軟な発想で、創意工夫された大学祭に、是非一度、足を運んでいただくと幸甚に存じます。



【平成29年度 学事予定】（1～4学年）

4月 7日	入学式
4月10日 ～ 4月12日	「保健医療総論1～4」
6月 8日 ～ 6月11日	大学祭
6月25日	大学記念日
7月24日 ～ 8月 4日	前期定期試験（4年生 看護）
7月31日 ～ 9月 3日	夏季休業（1・2・3年生）
8月 7日 ～ 8月20日	〃（4年生 看護）
8月 7日 ～ 9月18日	〃（4年生 理学）
7月31日 ～ 8月13日	〃（4年生 作業）
9月 4日 ～ 9月15日	前期定期試験（1・2・3年生）
9月25日	後期講義開始（1・2年生）
10月19日 ～ 10月21日	体育祭
12月 8日	文化芸術祭
12月25日 ～ 1月 8日	冬季休業
2月19日 ～ 3月 2日	後期定期試験（1・2年生）
1月29日 ～ 2月 2日	〃（3年生 理学）
2月19日 ～ 3月 2日	〃（3年生 作業）
3月16日	卒業式



入学式



保健医療総論

学科長ごあいさつ

看護学科長 城丸 瑞恵



平成29年3月17日(金)に卒業式が行われ、看護学科49名がみな晴れやかな表情で卒業しました。今年度も看護師・保健師とともに国家試験に全員が合格し、特に看護師は14年連続の100%合格となりました。本学の学生の頼もしさをあらためて実感するとともに、保護者の皆様のご支援に深く感謝しております。ありがとうございました。卒業生の多くは看護師・保健師として社会人になりますが、助産学専攻科への進学者もおりました。勤務先は主に札幌ですが、道内の出身地や東京・千葉などの道外を選択した卒業生もいました。本学の卒業生としての誇りを胸に、それぞれの道に希望を抱き進んでおります。

一方、4月7日(金)には51名の新入生を看護学科に迎えました。1人1人の表情は初々しくまた期待に満ちあふれていました。新入生オリエンテーションにも真摯にかつ積極的に参加し、看護学科内だけではなく理学療法学科・作業療法学科合同で取り組むグループワークを通して学科内外の交流もでき、これからの学習を行う上で良いスタートを切ることができたと思います。2年生は疾病に関する理解や看護の方法について学ぶ専門基礎科目が増え、後期には札幌医科大学附属病院で実習があります。3年生は多様な領域の看護方法について学ぶ専門科目が一層増え、本格的な実習が行われます。4年生は、引き続き専門科目を学習するとともに、「看護研究」「看護技術総合演習」「看護統合実習」などがあり、これらの科目を通して既習の知識と技術を統合して4年間の総まとめを行います。また、保健師選択コースの学生は公衆衛生看護に関する理解を深め実習も体験します。

これからも教職員一同、学生1人1人の個性や意欲を大事にしなが、豊かな人間性と高度な実践力の育成に向けて努力する所存です。保護者の皆様におかれましては、引き続きご支援よろしくお願いいたします。

理学療法学科長 片寄 正樹



新入生を迎え入れるこの時期は、教員においても多くの思いを寄せる時期ともなります。特に新入生20名と学科教員スタッフ全員が初めて対面する学科オリエンテーションは、本学科教員から今後4年間の学びに向けてのメッセージを一人一人に送る時間であり、新入生一人一人から本学への志望動機、将来への夢を語る希望に満ちた言葉をもらう時間となります。この時間は今のこの時点での思いを新入生そして教員と共有する時間となり、これからの4年間の学びを共に歩んでいくという精神的なスタートともなっています。学生にとっては希望と緊張に満ちた瞬間でもありますが、教員にとっては新入生からの心にとどめるべき言葉をもらうとともに、在学生、卒業生の新入時の言葉や姿、そして現在の活躍を想起させてくれる時間になっています。

教員から新入生へのメッセージは、これら過去の学生への指導経験をもとに、新入したこの時期に考えて欲しい思いが詰められたエッセンスとなり、熱がこもりすぎて予定時間を超えて熱くスピーチする教員が少なくありません。多くの教員のメッセージに含まれるのが、「自立した学びの姿勢」ということです。これからの4年間をかけてこの姿勢を身につけていただく、そのことの重要性を今から認識して欲しい。その言葉につけるのかもしれませんが、多くの卒業生の活躍を振り返り、そのことは確信ともいえるのかもしれませんが、入学時に様々な希望を胸に入学した学生が、これからの4年間で「自己学習能力」と「人間性」のある人材となりうる教育環境を確保していきたいと思っております。

保護者の皆様におかれましては、ご支援を賜りますこと何卒よろしくお願いいたします。

作業療法学科長 仙石 泰仁



平成29年度も入学式から2か月が過ぎ、新入生は大学の時間の流れや新しい交友関係に慣れ、落ち着いて生活ができているように感じています。また、5月の連休前には、2年生と3年生が中心となり、新入生との交流会を開催し学年を越えた学生のつながりも図られてきています。2年生は「解剖学」や「生理学」といった基礎医学科目や作業療法の専門科目である「作業療法評価学」が講義として開講される学年であり、医療専門職になる自覚が出てくる1年となります。また、臨床実習以外では最もレポート課題が多い学年でもあり、計画的な学習が必要となります。3年生はほとんどの講義を学科の学生だけで受講し、作業療法に関する専門科目を学びます。大学生活の中で最も時間的にゆとりを持たせたカリキュラムとなっており、自ら課題を持ち自主学習に取り組むことが求められています。10月には2週間の臨床実習(評価に関する実習)も控えており、緊張感を持った学習が期待されます。4年生は長期の臨床実習(治療に関する実習)に臨んでおり、9月までの間に3つの医療機関や福祉施設で作業療法の実際を学んでいます。学生にとっては初めての長期間に渡る職業体験であり、医療職としての責任や社会人としての振る舞いなど多くの課題に立ち向かっていると考えています。大学では、実習に関する相談担当を決め、学生からの連絡にはすぐに対応できる体制を作っていますので、保護者の皆様も気になることがあればご連絡を頂けるようお願いいたします。

最後に昨年度の国家試験は全員が合格することができました。卒業式での学生たちの晴れやかな顔を今年度も見る事ができるよう、教職員一同努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

保健医療学部 講義紹介

■ 情報科学（1学年） 大柳 俊夫 准教授

1年生が受講する一般教養科目の一つに「情報科学」があります。この科目では、コンピュータやインターネットの動作原理や利用、情報セキュリティの基本とセキュリティ技術等に関する基礎知識を学習し、医療従事者としての情報リテラシーの習得・向上を目指しています。

情報技術は日々進歩しており、最新技術やその医療分野への応用についても、可能な限り“実物”を講義中に持ち込み、学生さんが見て、触れて、感じ取ることができるように配慮しております。さらに、10年ほど前から、毎回の講義では黒板ではなくタブレットコンピュータの画面にペンで「板書」して液晶プロジェクタでスクリーンに提示し、その「板書」と講義の「音声」を録画する形で講義をしており、講義終了後には講義ノートと講義ビデオを受講生に公開しています。こうすることで、講義内容の復習や欠席した講義の自己学習を学生個人が自分のペースで行えるようになります。定期試験の前には特に多くの学生が利用しています。

この講義（題材）を通して、学び、考えることの楽しさ、難しさ、論理的なものの考え方、価値観の多様性、などについても知る機会となることを目指しております。



「情報科学」の学習支援サイト例

■ 生理学（1学年） 松山 清治 教授

医療に携わる人は「生命の理（ことわり）」すなわち「生命現象のメカニズム」を知るために「生理学」を修めることが必要となります。「生理学」は「解剖学」とともに他の医療系科目の基礎となる科目であり、保健医療学部では3学科ともに1年次の必修科目に配置されています。

「生理学」は様々な内臓の働きに関する「植物性機能」と脳や神経・筋肉の働きに関する「動物性機能」に分けられます。看護学科は「植物性機能」、理学・作業療法学科は「動物性機能」に重きが置かれた授業構成となっており、看護学科と理学・作業療法学科では分かれて授業が行われますが、一部の内容については3学科合同授業が行われています。

理学・作業療法学科では、講義形式の授業に加えて2年次の必修科目に「生理学実習」が配置されており、自らのからだの機能を対象として実際に測定を体験し、生理機能への理解を深めます。生理学実習では高額な医療機器が複数用いられており、とてもハイレベルな実習内容となっています。



「生理学」の講義風景

平成28年度卒業生の国家試験合格状況

- 看護師国家試験は49名が受験し、全員が合格しました。（合格率100%）
看護師国家試験14年連続合格率100%を達成しました！！
- 保健師国家試験は9名が受験し、全員が合格しました。（合格率100%）
- 理学療法士国家試験は18名が受験し、全員が合格しました。（合格率100%）
- 作業療法士国家試験は20名が受験し、全員が合格しました。（合格率100%）



※合格率（全国平均）

- 看護師国家試験…88.5%
- 保健師国家試験…90.8%
- 理学療法士国家試験…90.3%
- 作業療法士国家試験…83.7%



平成28年度 保健医療学部表彰

保健医療学部では、毎年度、本学部を卒業する学生と進級制限が設けられている2年生を対象に、学業成績および人物が優秀で他の範となる学生を最優秀者、優秀者として表彰する制度を設けています。平成28年度は以下の学生が表彰されました。

卒業生表彰者

○ 最優秀賞

- ・看護学科 (朝比奈嫩葉賞) 中武 延
- ・理学療法学科 (理学療法学賞) 高橋 夢子
- ・作業療法学科 (作業療法学賞) 飯田 滉大

○ 優秀賞

- ・看護学科 西 香奈美
- ・理学療法学科 喜多本 翼
- ・作業療法学科 山本 大稀

2年生表彰者

○ 最優秀賞

- ・看護学科 河原 央佳
- ・理学療法学科 根岸 奎輔
- ・作業療法学科 三上 あゆみ

○ 優秀賞

- ・看護学科 小野 里菜
- ・理学療法学科 玉井 勝是
- ・作業療法学科 佐藤 あやの



2年生表彰者の受賞コメント

☆河原 央佳 (看護学科・最優秀賞)

今回、看護学科の最優秀賞を受賞することができて本当に嬉しく思います。2月に行われた基礎実習2では、初めて担当患者さんを受け持たせて頂き、様々な学習をしていく中で、今まで学んだ知識の使い方を知りました。自分のために、患者さんのために、もっと色々なことを知りたいと思いました。今後も、3年生後期から始まる実習やその後に向けて、誠心誠意、学習していきたいです。最後になりますが、2年間支えてくださった先生方、看護学科のクラスメイトに感謝します。ありがとうございました。



☆小野 里菜 (看護学科・優秀賞)

この度、優秀賞に選んで頂き、驚きと同時にこの2年間努力をしてきて良かったと心の底から思いました。ここまで努力することができたのは、両親をはじめ、大学の先生方、友人の皆さんのおかげです。ありがとうございます。今後も課題や実習など忙しい日々が続きますが、より一層努力していきたいと思えます。

☆根岸 奎輔 (理学療法学科・最優秀賞)

この度は栄えある最優秀賞にお選びいただき誠にありがとうございます。表彰されて今思うことは、この栄誉は決して自分だけの成果ではないということです。これまで自分を指導して頂いた先生方、自分を支えてくれた同期のおかげであると改めて実感しています。今後も多くの人たちの関わりを大切にして、学業に邁進していきたいと思えます。

☆玉井 勝是 (理学療法学科・優秀賞)

今回、理学療法学科の優秀賞を受賞することになり、心から喜びの念を感じている。このような賞を頂くことは名誉なことであると思うので、まずは自分を誉めたいと思う。これから先、自分が今までつけてきた基礎の知識を使う機会が増えていくと思われるので、今までの知識を忘れることなく、新たな知識を更に積極的に得ていきたいと思う。

☆三上 あゆみ (作業療法学科・最優秀賞)

今回、このような光栄な賞を頂き、大変嬉しく思います。私がこうして大学で勉学に励むことができるのは、両親や先生方、周囲の仲間達のおかげであると思っております。これからも慢心せず、より一層勉学に励みながら学生生活を過ごしていきたいと思えます。

☆佐藤 あやの (作業療法学科・優秀賞)

初めにこの話を頂いたときは、正直とても驚きました。2年間を通して、モチベーションが下がった時期やつらい時期もありましたが、ここまで頑張ってきたことができたのは、他でもなく、支えて下さった周囲の皆様のおかげだと痛感しています。今回頂いた賞を糧にこれからも精進していきます。ありがとうございました。

お問い合わせ
札幌医科大学事務局学務課保健医療学部教務係
電話：011-611-2111 (内線：21920)